

“オープンイノベーションセミナー”

本セミナーは、参加企業様と登壇者様とのマッチングによる、新たな事業開発や技術連携の創出を目的としています。

オープンイノベーションに関する基調講演に続き、大学発スタートアップ企業より、革新的な技術や協業ニーズを発信していただきます。

開催はハイブリッド形式です。会場では、セミナー終了後、マッチング・意見交換のお時間を設けております。

新しい発見・課題解決に向けたマッチングの場として、積極的にご活用ください。

開催日時

2022年**12月16日**（金） **15:00-16:30**

開催方法

【会場開催】（30名）※先着順（開場：14:30）

■ 会場：QUINTBRIDGE（NTT西日本が運営するオープンイノベーション施設）

所在地：大阪市都島区東野田町4丁目15番82号
（詳細は裏面の地図をご参照ください）

【オンライン開催】

■ ビデオ会議ツール「Zoom」ウェビナーによる開催

対 象

- ・ 新しい事業開発・技術連携をご検討中の企業様
- ・ 研究開発に積極的に取り組まれている企業様

次 第

1. 基調講演

「既存の枠組みを超えたオープンイノベーションの重要性」
～スタートアップ企業との連携による事業共創のポイント～

西日本電信電話株式会社 イノベーション戦略室
事業開発担当 シニアマネージャー 仲出 雄樹 氏

2. プレゼンテーション

- ① 株式会社データグリッド（京都大学）
- ② 株式会社バックス・バイオイノベーション（神戸大学）
- ③ ORAM株式会社（関西大学）
- ④ 株式会社Thinker（大阪大学）
- ⑤ 株式会社U-MAP（名古屋大学）

※セミナー終了後、登壇者様とのマッチング・意見交換（会場参加の方のみ）

申込方法

下記お申込フォームまたは2次元コードよりお申込みください。

https://wkhb.f.msgs.jp/webapp/form/22590_wkhb_225/index.do

※本セミナーは事前登録制です。事前に登録いただいた方以外、

ご参加・ご視聴いただけません。【申込期限：2022年12月13日（火）】



主 催

株式会社池田泉州銀行、池田泉州キャピタル株式会社

協 力

NTT西日本 QUINTBRIDGE

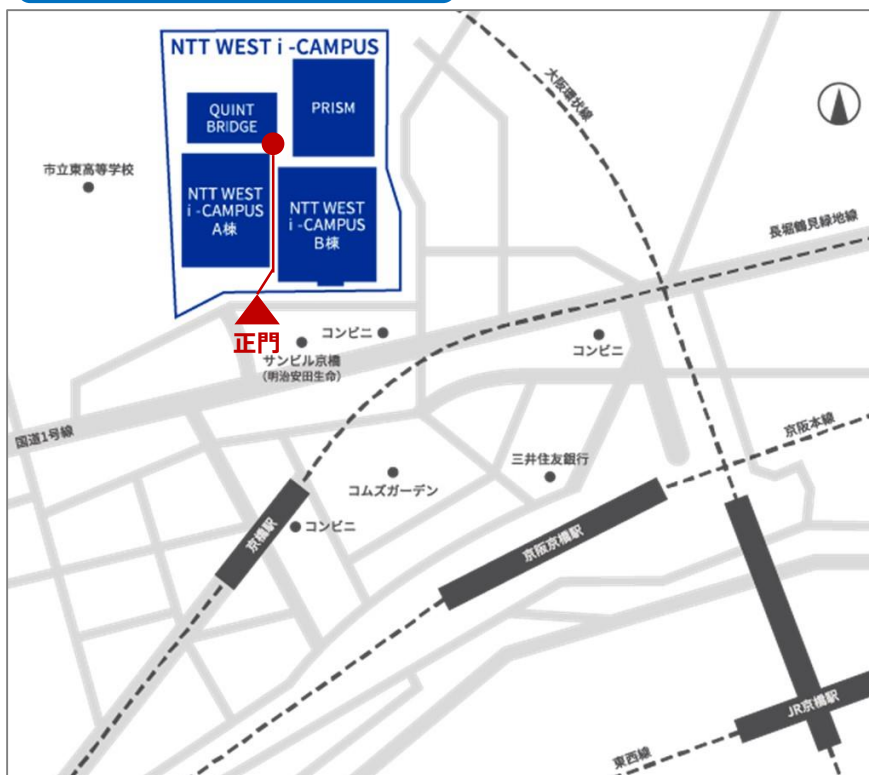
大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社、関西大学イノベーション創生センター
リアルテックホールディングス株式会社、関西イノベーションイニシアティブ

お問い合わせ

池田泉州銀行 地域共創イノベーション部（担当：向井・阪上）

電話（平日9:00-17:00）：06-6375-3637 メール：senshin@sihd-bk.jp

会場へのアクセス



※正門からQUINTBRIDGE建物 1 F入口までお越しください。



会 場 : QUINTBRIDGE
所 在 : 大阪市都島区東野田町
4丁目15番82号
<https://www.quintbridge.jp/about/>

- JR大阪環状線「京橋駅」北口：徒歩約10分
- 京阪本線「京橋駅」西口：徒歩約10分
- 地下鉄長堀鶴見緑地線「京橋駅」：徒歩約5分



(QUINTBRIDGE ホームページ)

マッチングに関するご案内

- ◆ 会場開催ではセミナー終了後、登壇者様とのマッチングのお時間を設けております。ぜひ会場にお越しください。
- ◆ オンラインで参加の方で、マッチングを希望されるお客様は、セミナー終了後のアンケートに、ご希望内容をご記載ください。後日別途ご案内させていただきます。
- ◆ ご記載いただきました内容によりましては、ご希望に沿えないこともございますので、予めご了承ください。

オンライン配信のご視聴について

- ◆ 本セミナーは「Zoom」のウェビナー機能を用いてライブ配信します。
- ◆ オンライン参加でお申込みいただきましたお客様には、**開催前日までに**視聴に関する情報をご連絡いたします。
- ◆ 本イベントにかかる映像、画像、テキスト、音声又は関連資料等のコンテンツの著作権は講演者、主催者、その他の著作権者に帰属します。
- ◆ 目的の如何を問わず、コンテンツの複製(ダウンロード、キャプチャ等)、送信、転載、その他二次利用行為はお断りさせていただきます。
- ◆ 本セミナーを視聴する際のインターネット接続費用、通信費等は視聴者様ご自身でご負担ください。

【留意事項】

- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止、オンライン配信のみとなる可能性があります。
- ◆ 講演等の内容につきましては予告なく変更させていただくことがございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆ お客様の個人情報は、弊行の「個人情報保護方針」に則り取扱いいたします。弊行の「個人情報保護方針」については、弊行ホームページでご確認ください。(<https://www.sihd-bk.jp/privacy/index.html>)
- ◆ ご記入いただいたお客様の個人情報は、本セミナー運営のため、主催者、協力機関、登壇者との間で共有させていただきます。また、受講者名簿の作成、出欠確認及び弊行からの各種連絡、情報提供のために利用させていただきます。
- ◆ 個人情報を共有する場合、当該個人データの管理は弊行が責任をもって行います。

登壇者様のご紹介

基調講演

西日本電信電話株式会社 イノベーション戦略室
事業開発担当 シニアマネージャー 仲出 雄樹 氏

- ・パナソニック株式会社に入社、プロジェクトリーダーとして、新規事業開発に従事。
- ・2021年NTT西日本入社後 スタートアップとの共創による事業開発を推進する傍ら、地域の企業の新規事業コンテストの審査員等も務める。
- ・NTT西日本は、2022年3月オープンイノベーションの推進を目的とした共創空間「QUINTBRIDGE（クイントブリッジ）」を大阪京橋に開設。
- ・企業・スタートアップ・自治体・大学などとの架け橋となり、新規事業の共創や地域課題解決を目指している。

2

株式会社バックス・バイオイノベーション

代表取締役 丹治 幹雄 氏

■事業内容

日本初の**統合型バイオフィアウンドリ**

機能をデザインした微生物（スマートセル）を創製して、バイオ由来製品の生産性向上や、非石油由来原料などの生産、CO2からのものづくりを開発するシステム・サービス

■コア技術

- ・顧客対応主軸の提案型開発
- ・低価格・自動化・高スピード開発

■協業ニーズ

- ・バイオ原料を扱っている企業
- ・食品 ・化粧品 健康食品
- ・機能性食品 ・石油化学 ・エネルギー
- ・原料 ・製紙 ・医薬、製薬 ・インフラ など

4

株式会社Thinker

代表取締役 藤本 弘道 氏

■事業内容

「**近接覚センサー**」の事業化により“指先で考えるロボットハンド”の実現を目指す

■コア技術

- ・**近接覚センサー**：独自AI技術により、対象物との距離と傾きを同時に高速・高精度に計測するセンシング技術
- ・従来の産業用ロボットでは難しいとされていたピックアップが可能となるほか、ティーチング負担の軽減も促進

■協業ニーズ

- ・新たなユースケース発掘のための実証実験パートナー
- ・独自AI技術の活用による新たなセンサー共同開発

1

株式会社データグリッド

代表取締役CEO 岡田 侑貴 氏

■事業内容

合成データを用いた高精度な外観検査AI/行動検知AIソリューション

■コア技術

- ・多様な合成データを創造する生成AI技術
- ・少数の不良データから大量の合成不良データを生成
- ・危険行動などの取得しづらい人物データを生成



■協業ニーズ

- ・製造現場における外観検査の自動化ニーズ
- ・外観検査用データや危険行動検知等における人物データの不足で悩んでいる企業

3

ORAM株式会社

代表取締役 野村 光寛 氏

■事業内容

作業用車両の遠隔操縦システムの開発

建機やフォークリフトなどの作業用車両の“遠隔操縦”を実現することで、労働力不足を解決し、生産性を向上

■コア技術

- ・既存の車両に遠隔化装置を後付け
- ・1人で複数台の車両の遠隔操縦も可能

■協業ニーズ

- ・制御系を得意とするソフトウェア開発企業
- ・小ロット対応可能な各種ものづくり企業
- ・実証実験のパートナー（建設・物流）



5

株式会社U-MAP

代表取締役 西谷 健治 氏

■事業内容

スマートフォンやPC、電気自動車などあらゆる電子機器業界が抱える「熱問題」を新素材で解決に取組む

■コア技術

- ・世界唯一・独自コア技術の「高い熱伝導率」と「絶縁性」を実現したThermalniteの開発



- ✓ 高い熱伝導率
- ✓ 絶縁性
- ✓ ファイバー形状

■協業ニーズ

- ・Thermalniteの放熱部材・部品への活用ニーズ
- ・放熱部品（セラミックス基板、高熱伝導樹脂製品）の量産・活用ニーズ

株式会社データグリッド

1

多様な合成データを創造する生成AI技術によって、AI構築に不可欠なトレーニングデータを提供します



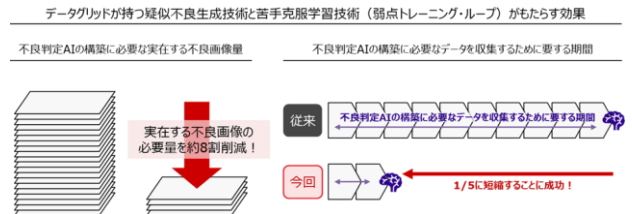
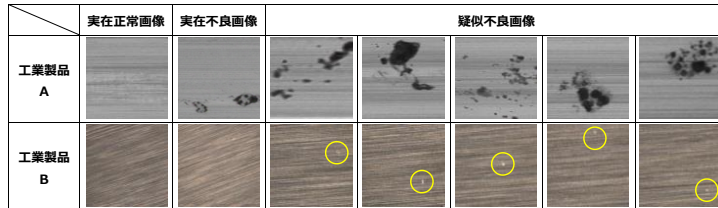
■ 事業内容

合成データを用いた高精度な外観検査AI/行動検知AIソリューション

■ コア技術/製品情報

外観検査AI用トレーニングデータ生成

- 少数の実在するデータから**大量の不良データをAIで生成**し、入手しづらい不良データを確保
- 住友電工社との共同開発実績もあり、**外観検査AIの構築**に合成データを使うことで、学習に用いる**実在データの量**と、現場での**データ収集期間**を**8割削減**

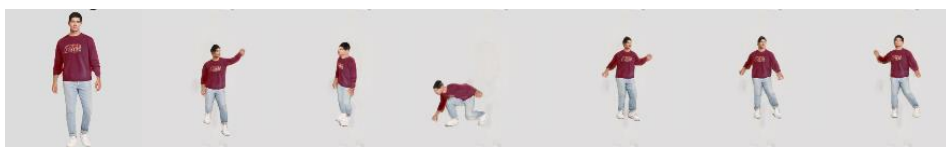


行動検知AI用トレーニングデータ生成

- 人物データの服装/姿勢を自由に操作、**危険行動などの撮影しづらいデータを生成**可能
- それによって工場内の危険行動検知や作業分析を行うAIのトレーニングデータ不足を解決

人物データ

姿勢の合成データ



■ 対応可能な事業/協業ニーズ・業種等

1. 製造現場における外観検査の自動化ニーズがある企業
2. 外観検査に取り組んでいるが、トレーニングデータ不足に悩まれている企業
(自動車関連部品やガラス容器などの複雑な形状をもつ対象物のデータ作成が可能)
3. 危険行動検知や作業分析の為に、撮影しづらい人物データの不足で悩まれている企業

■ 会社の基本情報

本店所在地：京都市左京区

設立年月日：2017年7月

会社HP：https://datagrid.co.jp/

代表者：岡田 侑貴

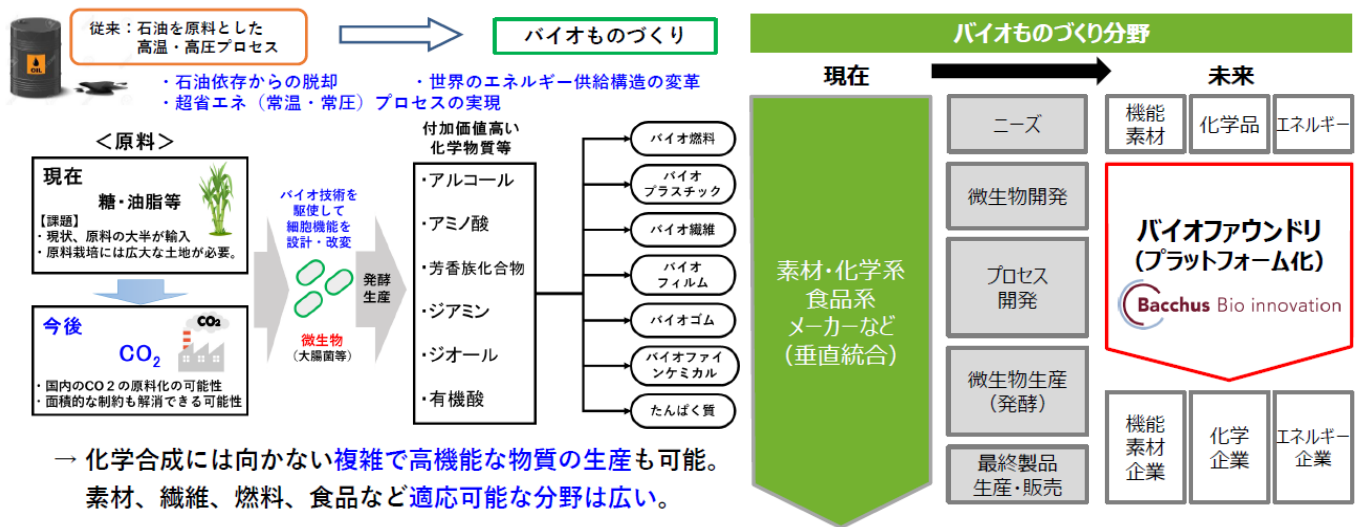
資本金：1億円

■ 事業内容

- ・日本初の統合型バイオファウンドリ
- ・機能をデザインした微生物（スマートセル）を創製して、バイオ由来製品の生産性向上や、非石油由来原料などの生産、CO2からのものづくりを開発するシステム・サービス

■ コア技術/製品情報

半導体分野で、台湾TSMCのようなファウンドリ（製造受託企業）が業界全体のプラットフォームになったのと同様に、バックスはバイオものづくり分野をプラットフォーム化



■ 対応可能な事業/協業ニーズ・業種等

- バイオ原料を扱っている企業、生産性向上を目指す企業
- 1. 食品、健康・機能性食品、化粧品（培養生産条件最適化、機能性素材開発）
- 2. エネルギー（バイオ燃料、バイオ素材、カーボンニュートラル、分解微生物、炭素固定）
- 3. 石油化学（脱石化由来原料のバイオ生産）
- 4. インフラ（水処理・汚泥の分解酵素探索）
- 5. 製紙（バイオマス利用）
- 6. 原料（バイオ香料）
- 7. 医薬、製薬（生体高分子バイオ生産、核酸医薬）

■ 会社の基本情報

本店所在地：神戸市中央区

代表者：丹治 幹雄

設立年月日：2020年3月

会社HP：<https://www.b2i.co.jp/>



■ 事業内容

- ・建機やフォークリフトなどの作業用車両の遠隔操縦システムを開発
- ・新しい働き方“遠隔操縦”を実現 → 労働力不足を解決し、生産性も向上

■ コア技術/製品情報

【特長】

- ・あらゆるメーカーの作業用車両に遠隔化装置を後付け
- ・1人で多機種・複数台の車両の遠隔操縦も可能
- ・搭乗操縦⇄遠隔操縦を即座に切り替え可能

【メリット】

建設や物流の現場
= 3K（きつい・汚い・危険）



安全、快適な場所で操作⇒働きやすい環境
複数現場を1人で操作⇒労働力不足を解消



■ 対応可能な事業/協業ニーズ・業種等

1. ソフトウェア開発企業
制御系のソフトウェア開発を得意としている企業
2. メカトロ製品設計・製造企業
操作レバーの製作など、ハード部分の小ロット試作・量産化に協力していただける企業建設業・物流業
3. 人手不足に悩んでおられ、実機を用いた現場での実証実験に協力していただける企業販売パートナー
4. 建機やフォークリフトのメンテナンス・レンタルをしている企業
5. ORAM製品を用いた遠隔ビジネスを共に創造したい企業
遠隔施工専門業の創業・遠隔オペレータ派遣業の創業など

■ 会社の基本情報

本店所在地：大阪市住之江区

代表者：野村 光寛

設立年月日：2021年7月

資本金：900万円

会社HP：https://www.oram.co.jp/



■ 事業内容

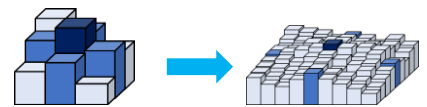
- 透明・鏡面物を認知でき、ティーチングの簡易化を実現する「近接覚センサー」の事業化



- 超低摩擦アクチュエーター技術を活用し、今までにないロボットハンドを開発・事業化



- 特徴量を高次元化する独自の機械学習キャリブレーションモデルを用いた新規センサー開発



■ コア技術/製品情報

- 近接覚：視覚とも触覚とも異なるモノの認知方法で、見たり、触ったりせずに認知する、人間にはない感覚
- 近接覚センサー：独自のAI技術により、対象物との距離と傾きを同時に高速計測するセンシング技術。これにより、死角部分を含めたモノの形状や鏡面・透明物質の認知が可能。従来の産業用ロボットでは難しいとされていた現場に応じた臨機応変なピックアップが可能となるほか、ティーチング負担の軽減も促進
- 今後は、画像認識技術等との組み合わせにより、ピッキング率向上の観点から更なるイノベーションが期待



■ 対応可能な事業/協業ニーズ・業種等

- 導入が予想される業界：従来の産業用ロボットが活躍する製造現場、及び協働ロボットへの装着により小規模製造現場での活用が予想される
- 協業ニーズ：
 - 1.今までにないセンサーであるため、思いも寄らない活用方法が想定される。新たなユースケースを発掘するための実証実験パートナーを探している
 - 2.当社の有する独自AI技術の活用により、新たなセンサーを共同開発する提携パートナーを探している

■ 会社の基本情報

本店所在地：大阪市中心区

設立年月日：2022年8月

設立に関するプレスリリース：

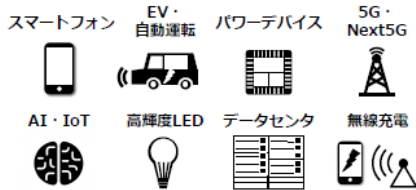
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000106143.html>

代表者：藤本 弘道

資本金：500万円

■ 事業内容

スマートフォンやPC、電気自動車などあらゆる電子機器業界が抱える「**熱問題**」を新素材で解決に取り組む

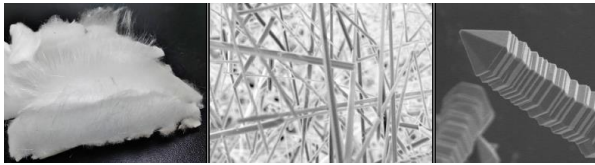


機器の発熱による影響

- ✓ パフォーマンスの低下
- ✓ 機器寿命の低下
- ✓ 安全性低下

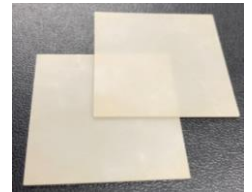
■ コア技術/製品情報

■ Thermalnite（ファイバー状窒化アルミニウム単結晶）の開発



世界唯一・独自コア技術

- ✓ 高い熱伝導率
- ✓ 絶縁性
- ✓ ファイバー形状



セラミックス基板

■ 高強度セラミックス事業

セラミックスに添加した複合部材を展開

高い熱伝導率に加えて、高い機械特性の両立を実現しEVや鉄道などに用いるパワーモジュール分野や光通信分野への展開

■ 高熱伝導樹脂部材事業

Thermalniteを添加した高熱伝導樹脂・ゴム複合材料を展開

既存品に比べ1/4の添加量で樹脂特性を維持した高熱伝導部材が実現可能



AlNファイバー
添加樹脂シート

■ 対応可能な事業/協業ニーズ・業種等

1. Thermalniteの放熱部材・部品への活用ニーズ

- ・ IC/センサー、バッテリー、モーター、高輝度LED、レーザーダイオードなどの周辺部品の放熱性能向上（高熱伝導化、高強度化、加工性向上など）に取り組まれておられる企業

2. 放熱部品（セラミックス基板、高熱伝導樹脂製品）の量産・活用ニーズ

- ・ 製品の冷却機構の省エネ化、小型化に取り組まれておられる企業
- ・ 放熱材料の放熱性向上に取り組まれておられる企業

■ 会社の基本情報

本店所在地：名古屋市千種区

代表者：西谷 健治

設立年月日：2016年12月

資本金：1億円

会社HP： <https://umap-corp.com/>